

エコアクション21

環境経営レポート 2024年度 対象期間(2024年5月～2025年4月)

健和電気株式会社



健和電気株式会社の頭文字「K」を中心に展開したコーポレート・マークは、紫・緑・赤が表現する企業コンセプトの、三位一体とも言うべきバランス・調和をシンボライズしています。この3つのコーポレート・カラーは電気の源である宇宙をイメージした紫により、事業の広がりや無限の可能性を、地球をイメージした緑により、健やかな成長とコミュニケーションによる和を、ヒトをイメージした赤により、知性と情熱を、それぞれ表現しています。また第4のカラーとなる白は、未知への創造性を意味しています。

発行日 2025年5月23日

目 次

- 1、取組の概要・対象範囲
- 2、取組の対象範囲
- 3、環境経営方針
- 4、環境経営目標(目標及び実績)・環境経営計画
- 5、環境経営計画
- 6、実施体制
- 7、環境経営目標・経営計画の実績
- 8、取組結果とその評価・次年度の取組
- 9、環境経営計画に基づく取組内容
- 10、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
- 11、代表者による全体の評価と見直し・指示

組織概要・事業活動

1 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

健和電気株式会社
代表取締役 福山 誠一

(2) 所在地

〒812-0004
福岡県福岡市博多区榎田二丁目3番23号

(3) 環境管理責任者及び環境管理事務局

担当者：営業部 森川 高匡

連絡先 電話 092-473-5289 FAX 092-411-5297

E-mail morikawa@e-kenwa.co.jp

(4) 事業活動内容

一般電気設備工事 設計 施工
上下水処理施設電気設備工事 設計 施工
電気通信工事 設計 施工
労働者派遣業務
関連商品販売

(5) 許可

福岡県知事許可（特-3）第105871号 電気工事業
福岡県知事許可（般-3）第105871号 電気通信工事業

(6) 事業年度

年度5月1日～翌4月30日

(7) 事業規模

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高 百万円	434	383	399	588
従業員数 人	11	10	10	10
事務所面積㎡	201.38	201.38	201.38	201.38

2 対象範囲

当社は全組織・全活動を対象範囲にしています。

事業活動

電気工事・電気通信工事・(設計・施工)及び関連部材の販売

3 環境経営方針

<企業理念>

健和電気株式会社は、電気工事業を社業として事業活動を通じて深刻化する地球温暖化防止と循環型社会形成を目指し、環境負荷の低減を図るために、社員一丸となり、環境保全活動に取り組みます。

<行動指針>

※ 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に改善します。

1. 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
2. 廃棄物の削減とリサイクル(分別を徹底し有効活用)の促進を実施します。
3. 水資源の節約に努めます。
4. 社会貢献活動に努めます。
5. 環境に配慮された、グリーン製品の使用を促進します。
6. 化学物質の適正管理に努めます。
7. 環境に配慮した現場の取組及び顧客への環境面で有用な提言を行います。

※ 自社の電気設備工事技術を活かし、社会システムの効率化に貢献します。

※ 当社の事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守します。

※ 環境レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

※ この環境経営方針は全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努めます。

制定日 2015年 5月 1日

改定日 2023年 8月 1日

健和電気株式会社
代表取締役 福山 誠一

4 中長期環境経営目標

項目	基準年度	目標値	目標値	目標値	目標値	
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
会社全体のCO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	31,488	31,173	31,015	30,858	30,700	
二酸化炭素排出量削減	電力		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	合計kWh	14,994	14,844	14,769	14,694	14,619
	事務所	14,994	14,844	14,769	14,694	14,619
	建設現場等	0	0	0	0	0
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	5,862.65	5,804.02	5,774.71	5,745.40	5,716.08
	ガソリン		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	合計L	10,526.01	10,420.75	10,368.12	10,315.49	10,262.86
	事務所 L	8,641.14	8,554.73	8,511.52	8,468.32	8,425.11
	建設現場等 L	1,884.87	1,866.02	1,856.60	1,847.17	1,837.75
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	24,437.82	24,193.44	24,071.25	23,949.06	23,826.87
	軽油 L		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	建設現場等 L	452.32	447.80	445.54	443.27	441.01
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	1,187.04	1,175.17	1,169.23	1,163.30	1,157.36
廃棄物排出量削減	廃棄物		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	一般廃棄物(事務所) kg	500.30	495.30	492.80	490.29	487.79
	一般廃棄物(現場) kg	8.10	8.02	7.98	7.94	7.90
	一般廃棄物合計	508.40	503.32	500.77	498.23	495.69
	産業廃棄物(現場)		実績の把握	実績の把握	実績の把握	実績の把握
建設リサイクル率		95%目標				
水使用量削減	水道 m ³		2022年度比1%削減	2022年度比1.5%削減	2022年度比2%削減	2022年度比2.5%削減
	事務所	50	49.00	49.00	49.00	48.00
	現場	6	6.00	6.00	5.00	5.00
グリーン製品使用促進(事務所・現場)	—	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入	
環境に配慮した現場取組(現場)	—	現場ハトロール	現場ハトロール	現場ハトロール	現場ハトロール	
化学物質適正管理(現場)	—	化学物質適正管理(SDS把握)	化学物質適正管理(SDS把握)	化学物質適正管理(SDS把握)	化学物質適正管理(SDS把握)	
建設リサイクル推進(現場)	—	現場の分別を徹底し有効活用	現場の分別を徹底し有効活用	現場の分別を徹底し有効活用	現場の分別を徹底し有効活用	
受注先への環境配慮提案(現場)	件/年	2件	2件	2件	2件	
社会貢献活動(会社)	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	

※ 電力排出係数、2021年度九州電力㈱による調整後排出係数0.391kg-CO₂にて算出

※ ガス使用量全体の5%割合以下のため、事務所、現場共に除外する。

※ 灯油過去2年間使用量0%で実績であり、事務所、現場共に除外する。

4-1 環境経営目標・実績(2024年単年度目標)

項目	基準年度	目標値	実績	差異	達成率%	
	2021年度	2024年度	2024年度	2021年度	2022年度	
会社全体のCO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	31,488	30,858	24,888	5,970.21	124%	
二酸化炭素排出量削減	電力		2021年度比2.0%削減			
	合計kWh	14,994	14,694	13,768	926.12	106.73%
	事務所	14,994	14,694	13,712	982.12	107.16%
	建設現場等	0	0	56	▲ 56.00	0.00%
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	5,862.65	5,745.40	5,383.29	362.11	106.73%
	ガソリン		2021年度比2.0%削減			
	合計L	10,526.01	10,315.49	8,401.00	1,914.49	123%
	事務所 L	8,641.14	8,468.32	6,361.81	2,106.51	133%
	建設現場等 L	1,884.87	1,847.17	2,039.19	▲ 192.02	91%
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	24,437.82	23,949.06	19,504.26	4,444.80	123%
	軽油 L		2021年度比2.0%削減			
	建設現場等 L	452.32	443.27	0.00	443.27	#DIV/0!
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	1,187.04	1,163.30	0.00	1,163.30	#DIV/0!
廃棄物排出量削減	廃棄物		2021年度比2.0%削減			
	一般廃棄物(事務所) kg	500.30	490.29	539.60	▲ 49.31	91%
	一般廃棄物(現場) kg	8.10	7.94	0.00	7.94	—
	一般廃棄物合計	508.40	498.23	539.60	▲ 41.37	92%
	産業廃棄物(現場)		実績の把握	実績の把握	—	実績の把握
	建設リサイクル率		95.0%	99.5%	4.5%	105%
水使用量削減	水道		2021年度比2.0%削減			
	事務所 m ³	50	49.00	47	2.00	104%
	建設現場等 m ³	6	5.00	0	5.00	—
グリーン製品使用促進(事務所・現場)	—	グリーン製品優先購入			グリーン購入配慮した購入実践	
環境に配慮した現場取組(現場)	—	現場ハトロール			現場ハトロールの実施	
化学物質適正管理(現場)	—	化学物質適正管理(SDS把握)			化学物質適正管理の実施	
建設リサイクル推進(現場)	—	現場の分別を徹底し有効活用			分別の徹底の実施	
受注先への環境配慮提案(現場)	件/年	3件			提案の実施	
社会貢献活動(会社)	年2回	年2回			社会貢献活動の実施	
求人募集(会社)	人材確保(随時)	専門学校より1名入社			求人募集の実施	
受注の増加・利益拡大(会社)	営業報告, コスト削減	営業報告, コスト削減			毎月の会議の実施	

※ 化学物資の当社での使用はありませんが、下請業者への管理を行っております。

5 環境経営計画書

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール
二酸化炭素排出量削減				
電力	事務所	空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃)	鈴木	5月～4月
		昼休み等の不要な照明の消灯		
		業務終了後は速やかに退社する		
		外出・退出時はパソコン電源を切る		
		エアコンフィルター清掃		
			8月 12月	
電力	現場	空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃)	高木寛	5月～4月
		昼休み等の不要な照明の消灯		
		外出・退出時はパソコン電源を切る		
ガソリン	事務所	車両のタイヤ空気圧の適正維持	鈴木	5月～4月
		急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)		
		効率的な営業ルートの選定		
		定期的な車両の整備		
ガソリン・軽油	現場	車両のタイヤ空気圧の適正維持	高木寛	5月～4月
		急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)		
		不要な荷物は載せない、相乗りしていく		
		定期的な車両の整備		
		必要な量を購入する		
廃棄物排出量削減				
一般廃棄物	事務所	ペーパーレス(データにてメール活用)	鈴木	5月～4月
		使用済用紙の裏紙使用		
		ごみ分別リサイクルの徹底		
一般廃棄物	現場	ペーパーレス(データにてメール活用)	高木寛	5月～4月
		使用済用紙の裏紙使用		
		ごみ分別リサイクルの徹底		
産業廃棄物	現場	廃棄物の分別(混合がでないように)分別によるリサイクルの徹底	高木寛	5月～4月
		マニフェストによる管理		
		積込、荷下し時混在しないように工夫する		

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール
水使用量削減				
上水	事務所	水道の蛇口を調整し節水に努める 節水呼びかけシールの張付	鈴木	5月～4月
	現場	建設機械等の洗車は泥を落としてから 節水呼びかけシールの張付	高木寛	5月～4月
グリーン購入の推進				
	事業所	文房具等のグリーン購入に配慮する 再生材料から作られた製品の購入	鈴木	5月～4月
環境に配慮した現場取組				
	現場	指定機械への対応 緊急時の体制及び対応 交通管理への対応 環境対策への対応 現場環境への対応 再生資源の利用の促進への対応 工期短縮 創意工夫による提案 その他環境に配慮した施工方法 科学物資使用量の抑制及び管理 グリーン購入 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組 現場周辺の清掃活動	高木寛	5月～4月
化学物質適正管理				
	現場	SDSにより管理する(下請業者)	高木寛	5月～4月
建設リサイクル促進				
	現場	分別を徹底し有効活用リサイクル率向上	高木寛	5月～4月
受注先への環境配慮提案				
	現場	環境配慮提案を促進する	高木寛	5月～4月
社会貢献活動の実施				
	会社	事務所周辺の清掃	鈴木	8月 12月
	現場	現場周辺の清掃	高木寛	5月～4月
課題とチャンス計画				
求人募集	会社	関係機関への募集を行う	鈴木	5月～4月
受注の増加 ・利益の拡大		計画し受注の増加(営業計画書)に取組む		5月～4月

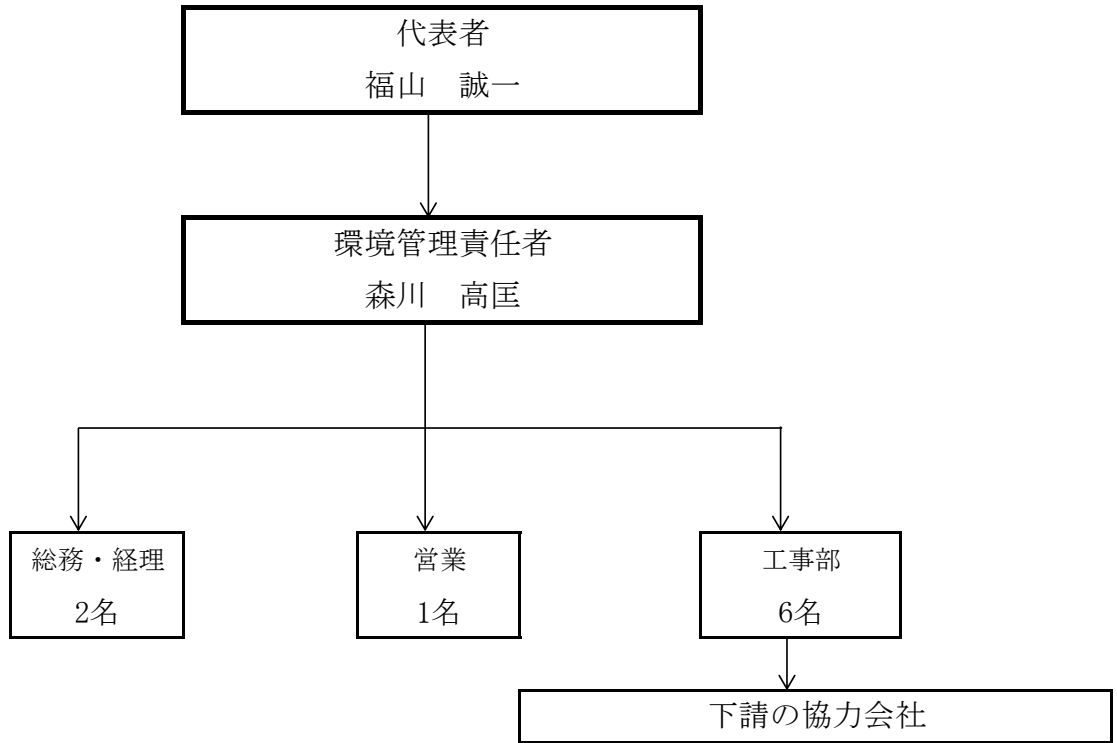
※ 当社は化学物質の使用はないが下請業者が使用する為適切な管理指導する。

6 実施体制図及び役割・責任・権限表

作成日:2018/6/2

組織・対象範囲(全社・全事業)

更新日:2024/5/20



7 環境目標の実施状況・環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組

環境目標・活動計画実績
(2024年度)

活動期間(2024年5月～2025年4月)

二酸化炭素排出量削減(電気)		kg-CO2	年間目標	年間実績	目標達成	
環境目標	電気使用量削減排出係数九州電力2021年調整後0.391kg-CO2使用	事務所	kWh	5,745	5,383	○
		現場	kWh	14,694	13,712	○
		合計	kWh	14,694	13,768	○
達成の為に目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。						
活動計画	活動目標達成の為に活動計画					
	①空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃)					
	②昼休み等の不要な照明の消灯					
	③外出・退出時はパソコン電源を切る					
	④業務終了後は速やかに退社する					
⑤エアコンフィルター清掃						
評価	電力kWh					

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
618	917	1,314	2,849	2,023	1,852	1,069	4,944	538	801	1,342	2,681	1,426	989	823	3,238
0	0	0	0	0	31	25	56	0	0	0	0	0	0	0	0
618	917	1,314	2,849	2,023	1,883	1,094	5,000	538	801	1,342	2,681	1,426	989	823	3,238

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より2.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している ○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(暑さ対策を行い、換気を十分にしていく。)

四半期末の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
目標達成中。継続して、エアコン温度調整等にて削減に取組む。事務所照明器具6月6日LEDに更新する。(R6.8.13)	目標不達成。8月9月10月の暑さにエアコン使用量増加、エアコン温度調整等にて削減に取組む。事務所電灯はLED化により減少している。現場は目標値ゼロにて今回使用量発生となる。(R6.11.8)	目標達成。不要な照明の消灯、業務終了後は速やかに退社して継続して取組む目標達成。エアコン使用を控える等の削減を行うと共に不要な照明の消灯を行って計測して取り組む(R7.2.7)	目標達成。不要な照明消灯を継続する。また、寒暖の差があるため体調を崩さないようにエアコン使用を控え削減に取組む。(R7.5.9)

水使用量の削減 環境目標		年間目標	年間実績	目標達成		
環境目標	水使用量削減	事務所	m3	49	47	○
		現場	m3	5.8	0	○
		合計	m3	55	47	○
達成の為に目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。						
活動計画	活動目標達成の為に活動計画					
	①水道の蛇口を調整し節水に努める。					
	②節水呼びかけシールの張付 ③建設機械等の洗車は泥を落としてから					
評価	水道 m3					

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
4.0	4.0	3.5	11.5	3.5	3.0	3.0	9.5	4.5	4.5	4.0	13.0	4.0	4.5	4.5	13.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.0	4.0	3.5	11.5	3.5	3.0	3.0	9.5	4.5	4.5	4.0	13.0	4.0	4.5	4.5	13.0

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より2.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している ○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(水を出したままにしない)

四半期末の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
目標達成、手洗は継続し節水に努める。現場対象無、(R6.8.13)	目標達成、継続して手洗は継続し節水に努める。現場対象無。(R6.11.8)	目標達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無、(R7.2.7)	目標達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無、(R7.5.9)

7 環境目標の実施状況・環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組

No2
環境目標・活動計画実績
(2024年度)

活動期間(2024年5月～2025年4月)

		年間目標	年間実績	目標達成	
二酸化炭素排出量削減・ガソリン使用量		kg-CO2	23,949	19,504	○
環境目標	ガソリン使用量削減 事務所	L	8,468	6,362	○
	ガソリン使用量削減 現場	L	1,847	2,039	○
	合計		10,315	8,401	○
達成の為に目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。					
活動目標達成の為に活動計画					
活動計画	①車両のタイヤ空気圧の適正維持				
	②急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)				
	③定期的な車両の整備				
	④効率的な営業ルートを選定				
	⑤不要な荷物は載せない、相乗りしていく。				
評価	<p style="text-align: center;">ガソリン L</p>				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5～7月	8月	9月	10月	8～10月	11月	12月	1月	11～1月	2月	3月	4月	2～4月
565.54	619.29	751.27	1,936.10	479.91	509.79	497.06	1,486.76	497.52	504.05	489.45	1,491.02	429.29	520.29	498.349	1,447.929
140.61	282.01	217.07	639.69	65.69	151.42	137.44	354.55	171.4	176.85	104	452.25	248.44	133.2	211.06	592.7
706.15	901.30	968.34	2,575.79	545.6	661.21	634.5	1,841.31	668.92	680.9	593.45	1,943.27	677.73	653.49	709.409	2,040.629

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より2.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	△	○	△	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(毎月の車両管理を継続していくこと)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
事務所現場共不達成。移動距離遠方にて増加している。エコドライブをし、ルートを検討しながら取組んで行く。事務所1台ガソリン車から電気自動車へ6月に変更。(R6.8.6)	事務所・現場共達成している。継続してエコドライブ等を行い削減に取組む。(R6.11.8)	事務所・現場共達成している。継続してエコドライブ等を行い削減に取組む。下半期車両等の現場使用量が増加するので計画して効率よく削減に取り組む。(R7.2.7)	事務所・現場共達成している。継続して削減に取組む(R7.5.9)

		年間目標	年間実績	目標達成	
二酸化炭素排出量削減・軽油使用量		kg-CO2	1163	0	○
環境目標	軽油使用量削減 現場等	L	443	0	○
	達成の為に目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成の為に活動計画					
活動計画	①車両のタイヤ空気圧の適正維持				
	②急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)				
	③定期的な車両の整備				
	④効率的な営業ルートを選定				
	⑤不要な荷物は載せない、相乗りしていく。				
	⑥必要な量を購入する。				
評価	<p style="text-align: center;">軽油 L</p>				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5～7月	8月	9月	10月	8～10月	11月	12月	1月	11～1月	2月	3月	4月	2～4月
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より2.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○
—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○
—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○
—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(作業車等使用時は、現場計画し効率よく利用すること)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
使用量ゼロにて目標達成となる。	使用量ゼロにて目標達成となる。継続して削減活動取り組む。(R6.11.8)	使用量ゼロにて目標達成となる。継続して削減活動取り組む。(R7.2.7)	目標は達成です。作業車使用時は効率良く使用する。(R7.5.9)

7 環境目標の実施状況・環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組

NO3

環境目標・活動計画実績

(2024年度) 活動期間(2024年5月～2025年4月)

		年間目標	年間実績	目標達成
一般廃棄物排出量削減・				
環境目標	一般廃棄物排出量 事務所	kg	490	540 ×
	一般廃棄物排出量 現場	kg	8	0 ○
	合計		498	540 ×
達成の為の目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成の為の活動計画				
活動計画	①ペーパーレス(データにてメール活用)			
	②使用済用紙の裏紙使用			
	③ごみ分別リサイクルの徹底			
	④			
	⑤			
評価	<p style="text-align: center;">一般廃棄物 kg</p>			
	<p>150.00 100.00 50.00 0.00</p> <p>5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月</p> <p>■ 青(計画) ■ 赤(実績)</p>			

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
20.8	15.6	111.1	147.5	16.4	86.3	10.8	113.5	19.4	128	11.4	158.8	16.6	24.2	79	119.8
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20.8	15.6	111.1	147.5	16.4	86.3	10.8	113.5	19.4	128	11.4	158.8	16.6	24.2	79	119.8

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している ○、一部不十分△、取組不十分×)

△	○	△	△	○	△	○	△	○	△	○	○	△	○	△	○
△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○	△	○	△	○
○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(特にペーパーレス、データにてメール等を活用する)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
目標不達成。7月に段ボール、雑誌をリサイクルにて増加する。継続してデータにてメール活用等を行い取組んで行く。又、ごみの分別を徹底して行く。(R6.8.6)	不達成、9月事務所にて段ボール・雑誌の処分が発生し不達成となる。継続して現活動を継続して行く。(R6.11.8)	目標達成。継続してペーパーレス等を行い取組んで行く。印刷ミスが内容印刷時確認する事。(R7.2.3)	目標達成。紙のリサイクル徹底すると共にメール等を活用し削減に取組んで行く。段ボールのリサイクルの徹底する。(R7.5.7)

		年間目標	年間実績	目標達成
廃棄物排出量削減・リサイクル向上				
環境目標	産業廃棄物	t	実績把握	342.38 —
	産業廃棄物リサイクル率 (177.71tリサイクル)	%	95	99.5 ○
達成の為の目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成の為の活動計画				
活動計画	①廃棄物の分別(混合がでないように)分別によるリサイクルの徹底・率の向上			
	②マニフェストによる管理			
	③積込、荷下し時混在しないように工夫する。			
評価	<p style="text-align: center;">産業廃棄物 t</p>			
	<p>150.00 100.00 50.00 0.00</p> <p>5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月</p> <p>■ 青(計画) ■ 赤(実績)</p>			

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
0	0	0	0	0	25.6	53.275	78.875	69.51	75.118	112.24	256.86	6.515	0.13	0	6.645
—	—	—	—	—	99.0%	99.8%	—	99.5%	99.5%	99.7%	—	98.0%	80.0%	—	—

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。リサイクル率95%以上を目指す。(重量tについては、毎月の実績を把握していく。)

環境計画取組事項評価(取組している ○、一部不十分△、取組不十分×)

—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(元請工事により変動しますが、分別を徹底しリサイクル率アップして行く。)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R6.8.6)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R6.11.6)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R7.2.4)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R7.5.7)

8取組結果とその評価・次年度の取組

項 目			全体評価	
			目標達成状況	評価（是正・次年度の対応取組含む）
二酸化炭素排出量	事務所	電力	○	目標達成。6月に事務所LED照明へ更新し昨年度より電灯1,145kVA減となる。エアコン使用により動力が8月9月の暑さにより増加した。（継続して空調の温度調整と換気し、不要な電気の消灯を徹底して行く）
		ガソリン	○	目標達成。7月に1台電気自動車へ変更とりました。（継続エコドライブの徹底、効率的なルートの選択を行っていく）
	現場	電力	×	目標不達成。目標値ゼロにて現場引き渡しまでの電気量発生する。（継続して削減に取組む）
		ガソリン・軽油	×	目標不達成。現場遠方等により不達成となる。（継続して削減に取組む）
	全体	CO2	○	目標達成。（継続して削減に取組む）
廃棄物	事務所	一般廃棄物	×	目標不達成。雑誌段ボールが基準より40kg増加している。（データ活用により紙の消費削減に継続して取組と共にリサイクルを徹底して行く）
	現場	一般廃棄物	○	目標達成。（継続して削減に取組んでいく。）
	全体		○	目標不達成。（継続して取組む）
	産業廃棄物		—	実績342.38 t
水	事務所		○	目標達成（継続して削減に取組む）
	現場		○	目標達成（継続して削減に取組む）
	全体		○	目標達成（継続して削減に取組む）
グリーン製品使用促進（事務所・現場）			○	備品関係購入できるものは継続して購入していく
環境に配慮した現場取組（現場）			○	9件元請工事の現場活動確認チェックを行った。（継続して活動チェックを行い是正等の取組んで行く）
化学物質適正管理（現場）			○	1件確認し管理を行った（継続して下請指導に取組んで行く）
建設リサイクル推進（現場）			○	廃棄物リサイクル率99.5パーセントにて取組が出来た（継続して取組む）
受注先への環境配慮提案（現場）			○	2件提案行った（継続して取組む）
社会貢献活動（会社）			○	2回事務所周辺の清掃活動行った。又、各現場毎にそれぞれ清掃活動を行った。（継続して取組む。）
課題とチャンス対応：求人募集			○	ハローワーク他学校関係に求人を出しましたが応募が無し。（継続して取組む。）
課題とチャンス対応：受注の増加・利益拡大			○	月の営業報告により計画をもって対応できた。（継続して取組む。）
システム運用管理			○	年間スケジュールにより計画をもって行った。（継続して取組む。）
環境法令遵守状況			○	令和6年度環境関連法規等の遵守状況の結果、違反はありませんでした。（継続して取組む）
その他（苦情・その他）			○	令和6年度苦情はありませんでした。
評価者・評価日			—	森川 2025年5月20日
評価にあたっての指示			—	事務所照明LED化により減少しているが、不要な使用を減らしていく。一般廃棄物は段ボール雑誌が増加となっているが、分別をリサイクルを徹底していく。
承認				

9 環境経営計画に基づく取組内容

電気使用量の削減

事務所の室温 夏冷房28℃ 冬暖房20℃とし温度計を設置して窓の開放、エアコンで調整しています。

昼休みは消灯を実施しています。

令和6年6月 事務所LED照明導入しています。

節電の表示と実施



昼休み消灯



LED照明の導入



水使用量の削減

節水に努めるよう表示しています。

節水の表示状況



ガソリン、軽油使用量の削減

毎日の行先、走行距離、を記録管理し月1回車両の点検しています。

車両の運転記録表・点検表

車種	走行距離	燃料消費量	点検項目	点検結果
軽自動車	100km	10L	エンジンオイル	正常
軽自動車	100km	10L	ブレーキ	正常
軽自動車	100km	10L	タイヤ	正常
軽自動車	100km	10L	照明	正常
軽自動車	100km	10L	その他	正常

廃棄物の削減

紙くず、スチール缶、アルミ缶、ピン類を選別しています。

一般廃棄物の分別状況



産業廃棄物保管表示をしています。

段ボールはまとめて改修業者へ引き渡しています。

産業廃棄物保管状況・段ボール回収ボックス



地域貢献活動

周辺の清掃活動を実施しています。



一人一花運動への参加しています。



SDGsに取り組む

福岡市と福岡県SDGsに登録しています。



10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	分別解体と再資源化	○
電気工事士法	電気工事業の登録及び業務の適正な実施	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	今年度該 当無し
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	今年度該 当無し
フロン排出抑制法	簡易点検の記録	○
労働安全衛生法	医師による健康診断の実施	○
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法	プラスチック製品廃棄物を分別して排出するよう努める	○

令和7年4月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

記録その1: 評価及び見直しに必要な情報(環境管理責任者) 記録日: 2025年5月20日

環境目標の達成状況・ 環境活動計画の実施状況	環境目標	環境目標の 達成状況	環境活動計 画	コメント
	二酸化炭素排出 量の削減	○	○	事務所6月にLED化。継続して不要な電気を消費し ないように徹底して行く。
	一般廃棄物排出 量の削減	×	○	紙くず・段ボールをリサイクル化を継続して行く。データの 活用を行い紙ベースの減少に取り組んで行く。
	産業廃棄物リサ イクル率向上	○	○	目標値以上を達成出来ました。
	水使用量の削減	○	○	継続して現取り組みをして行く。
	グリーン購入の 推進	○	○	事務用品等エコ製品購入推進を行った。
	社会貢献活動	○	○	事務所周辺年2回活動を行った。現場は現場毎に活 動を行った。
	現場の環境取組	○	○	各現場で取組みが実施された。
	課題とチャンス対 応: 求人募集	○	○	継続して募集をして行く。
	課題とチャンス対 応: 受注の増加・ 利益拡大	○	○	情報の収集、コストの削減に取組む。
環境関連法規等の遵守状況 のチェック結果	遵守できている。法令違反ありません。			
外部からの苦情等の受付結果	苦情等の発生はありません。			
前回の代表者の指示事項とそ の取組結果	目標達成に継続して努めると共に、下請関連業者と一緒に なってCO2削減に取り組む。また、リサイ クル化を徹底し、資源を大切に して行く。			
その他 (前回の審査での指摘事項の改 善結果、その他改善への提案)	レポートの目次に「環境経営計画に基づき実施した取組内容」を記載する。			

記録その2: 評価及び変更の必要性と指示(代表者) 記録日: 2025年5月20日

環境経営システムが有効に機能しているか	有効に機能している変更なし
環境への取組は適切に実施されているか	適切に実施されている。
環境方針 変更の必要性(○有 ●無)	変更無
環境目標・環境活動計画 変更の必要性(○有 ●無)	変更無
実施体制 変更の必要性(○有 ●無)	変更無
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有 ●無) 指示事項 ○ 取組の対象組織・活動の 明確化 ○ 環境負荷の把握・評価 ○ 環境関連法規等の 取りまとめ ○ 実施体制の構築 ○ 教育・訓練の実施 ○ 環境コミュニケーションの 実施 ○ 実施及び運用 ○ 緊急事態への準備及び対応 ○ 環境文書及び記録の作成・ 管理 ○ 取組状況の確認及び評価	社員一人一人CO2削減に向けて行動し、関連業者には積極的に当社の環境活 動を理解して頂き協力願うこと。 リサイクル可能なものは、リサイクルして資源を大切にしていこう。